

資料番号	
策 定	平成 年 月
改 訂	平成 年 月
	平成 年 月
	平成 年 月

利 府 町 下 水 道 台 帳 作 成 要 領

## 提出書類（成果品）について

### 1. 工事関係竣工図

CADデータ及び白焼き

#### ■ B 4 版縮小マイラー図

工事関係の竣工図（平面図・縦断図・横断図・各種構造図・その他関係図面）一式

#### ■ A P カード

### 2. 公共下水道台帳関係

#### ■ 下水道台帳施設平面図

CADデータ及び白焼き

- ① 1 : 500      マイラー及び青焼き
- ② 1 : 1,000    マイラー及び青焼き
- ③ A P カード      (ラベルの様式は別紙参照)

公共下水道台帳施設平面図の作成は、別紙「下水道台帳作成仕様書」による。

#### ■ 下水道台帳調書

- ① 下水道調書
- ② 区間延長調書
- ③ 管渠延長調書
- ④ マンホール及び柵調書
- ⑤ 管 理 台 帳

電子データ

公共下水道台帳調書の作成は、別紙「公共下水道台帳調書について」参照

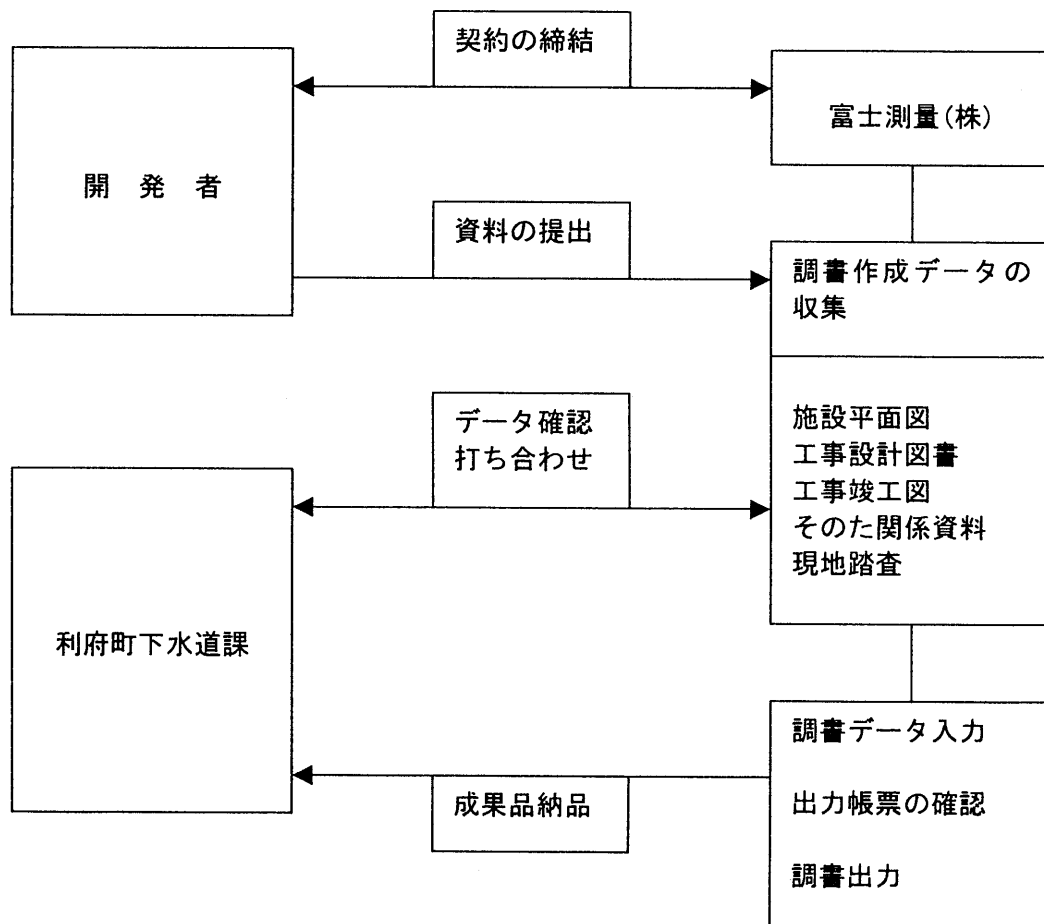
## 公共下水道台帳調書について

本町では、下水道台帳調書を電算化しデータベースで管理しているので、あらためて冊子化した成果品は必要ありません。

ただし下記フローに従い、電算委託先と調書作成の契約を締結し、各種帳票を納品してください。なお、帳票作成費用は開発者等の負担とします。

~~調書作成対象区域のデータ作成には、公共下水道台帳施設平面図、関係資料との照合・現地踏査等が必要となりますが、詳細は電算委託先と協議を行ってください。~~

電算委託先： <del>富士測量（株） システム事業部システム開発課</del> <del>仙台市宮城野区白鳥一丁目34-25</del>
<del>TEL 022 (254) 9801</del>
<del>FAX 022 (254) 9713</del>



# 下水道台帳作成仕様書

1. 本業務の調査及び測量は、契約書、利府町下水道課仕様書並びに本仕様書に基づき行うものとする。
2. 本委託調査にあたっては、施行計画書を提出しなければならない。
  - 1) 作業者名簿
  - 2) 作業の手順及び方法
  - 3) 使用機器の名称及び種類、性能
  - 4) その他
3. 本委託における測量及び調査は図面及び本仕様書に指示する事項によるほか、町監督員の指示に従い精度の保持に留意し、良心的、誠実かつ正確に施行しなければならない。
4. 土地の立ち入り  
本委託における測量及び調査にあたり、国有地、公有地または私有地の土地に立ち入る場合は携帯している身分証明書を提示するのはもちろんのこと当該関係者と不要のトラブルを起こさないよう適宜処置を講じて作業の実施にあたらなければならない。
5. 多角測量
  - 1) 多角測量は閉合トラバースを原則とし与点どうしで閉合させなければならない。
  - 2) 各作業の精度及び誤差制限は下記による。
    - a. 角観測は方向法二対観測を原則とする。
    - b. 距離の往復測定差は1/1000以内。
    - c. 角観測の閉合誤差は $30\sqrt{n}$ （秒）       $n$ ：観測数
    - d. トラバースの閉合比は1/5000以内
  - 3) 多角測量杭は6"×6"の木杭を使用し舗装その他の事由により木杭を使用できない場合は鋳等で代替えるものとする。
6. 平面測量
  - 1) 平面測量は、地物の位置を交会法、導線法、放射法の各種合理的な方法を適宜応用して図示すること。
  - 2) 測定範囲は、別添図面及び設計書のとおりとする。
  - 3) 地物の位置誤差は図上において0.5"を超過してはならない。
  - 4) 図式は道路台帳平面図に準ずるほか特例の場合は町監督員の提示による。
  - 5) 地形図原図には図名、縮尺、その他指示事項について記入する。
7. 水準測量

- 1) 測定範囲は別添図面及び設計書のとおりとする。
- 2) 許容誤差は、往復差、閉合差とも  $10\sqrt{s}$  とする。  $s$ : 片道距離 km

## 8. 現地調査

- 1) 本管、取付管、マンホール、その他下水道施設の構築物についてはすべて現地調査を行い下水道台帳作成仕様書にもとづき記入するものとする。
- 2) 本管、マンホール、雨水吐室、伏越室の形状、管径等、その他必要な事項の測定は、孔内に潜入して調査するものとする。
- 3) 孔内に潜入して調査するときは、十分な換気を行い、予め酸素濃度、有害ガス濃度の測定をし安全を確かめてから孔内へ潜入するものとする。
- 4) 孔内へ潜入するまえに孔内の異常を感知したときは潜入をとりやめ、ただちに 監督員に連絡をし監督員の立ち合いを求め監督員の提示に従うものとする。
- 5) 孔内の作業は危険を伴うので落下防止用具を装着し適正な保安具、保護具を装着して作業員の安全をはかってから孔内調査を行うものとする。
- 6) 測距は鋼製テープを使用し、その誤差範囲は100mにつき5mmとする。

## 9. 製 図

数字、文字は正確かつ丁寧に見栄よく記入すること。

## 10. 下水道台帳平面図の記入項目

- ① 市町村名及びその境界線。
- ② 排水区の境界線及び名称。
- ③ 処理区の境界線及び名称。
- ④ 管渠の位置、形状、内のり寸法、管種、勾配、区間距離及び管渠底高並びに流向。
- ⑤ 取付管渠の位置、形状、内のり寸法及び延長。
- ⑥ マンホールの位置、種類及び内のり寸法。
- ⑦ 汚水ます及び雨水ますの位置及び種類。
- ⑧ 吐口の位置並びに下水の放流先の名称。
- ⑨ 排水施設に接続する道路の側溝、公共溝渠等の位置、形状、内のり寸法及び名称。
- ⑩ 処理施設及びポンプ施設の名称及び敷地の境界線。
- ⑪ 道路の幅員並びに交差点付近宅地の地盤高及び住居表示。
- ⑫ 図面には縮尺、凡例及び調整の年月日。

## 11. 下水道台帳平面図の寸法等

- ① 原図は利府町道路台帳平面図を基本図とする。
- ② 平面図の縮尺は500分の1とし外わく及び内わくの寸法は次表のとおりとする。

外 わ く		内 わ く	
縦	横	縦	横
660mm	900mm	600mm	800mm

③ 道路、下水道構築物を主体とした高精度平面図。

④ 下水道構築物としては、管渠、マンホール、吐口、ます、取付管、伏越、ポンプ場、処理場等を別紙台帳凡例に基づき明確に記入する。

## 12. 下水道施設の記入

### ① 管 渠

イ. 管渠は一本線の実線とする。

ロ. 管渠の形状別表示は、次の記号による。

円 形 管	———	○	隧 道	———	◐
馬 蹄 形 暗 渠	———	◑	背 割 暗 渠	———	⊕
矩 形 暗 渠	———	□			
開 渠	———	└┐			

ハ. 管渠の大きさは円形の場合は内径、矩形・馬蹄形・その他の特殊管は幅及び高さの最大のところを測る。延長はマンホール中心間をもって表し、管底高はマンホール内壁部における各管底の高さをもって表す。

ニ. 管渠の形状、勾配、延長を表す文字はマンホールとマンホールの間に記入し、管底高を表示する文字は所属管と平行して管底変化箇所に記入する。記入できない場合は、引出線をもって所属管を表示する。

ホ. 管渠線の流向を示す矢印は、その所属管渠線の下段に平行して記入する。

### ② マンホール

イ. マンホールの標準は、1号（内径90<sup>mm</sup>）、2号（内径120<sup>mm</sup>）、3号（内径150<sup>mm</sup>）、4号（内径180<sup>mm</sup>）、5号（内法210<sup>mm</sup>×120<sup>mm</sup>）、6号（内法260<sup>mm</sup>×120<sup>mm</sup>）、7号（内法300<sup>mm</sup>×120<sup>mm</sup>）、特1号（内法60<sup>mm</sup>×90<sup>mm</sup>）、特2号（内法120<sup>mm</sup>×120<sup>mm</sup>）、特3号（内法140<sup>mm</sup>×120<sup>mm</sup>）、特4号（内法180<sup>mm</sup>×120<sup>mm</sup>）、特殊マンホール、雨水吐室、伏越室等がありこれらを区別した別紙台帳凡例により記入する。

ロ. マンホールの位置は、道路境界を基準とし両側及び両側角よりマンホール蓋の中心までの距離をもって表す。

ハ. マンホールの位置の地盤高は標高で表し、マンホール蓋縁わくの高さをもって表示する。縁わくの傾斜の場合はその上下の平均をとる。

ニ. マンホール箇所の地盤高記入に当たっては、文字を漢数字縦書とする。

### ③ ま す

イ. ますの記号は別紙台帳凡例によって区別しその形状を記入する。

ロ. ますの位置はマンホール中心を起点とし下流に向い距離を測りその通加距離で表す。通加距離は各マンホールごとに更新する。

ハ. ますの通加距離はますの所属の取付管に平行して記入する。

### ④ 取 付 管

イ. 取付管は雨水、汚水ともに記入する。

ロ. 取付管の径及び延長は、取付管に平行して記入する。なお管の延長は本管の中心よります中心までとする。

### ⑤ 吐 口

イ. 吐口はその放流先河川の名称を記入する。

⑥ 伏 越

- イ. 伏越は台帳凡例の記号により記入する。
- ロ. 伏越箇所の断面形状、寸法を別記する。
- ハ. 伏越管渠の径、延長、勾配を表示する。文字は伏越マンホール管に記入する。
- ニ. 伏越マンホールの形状及び地盤高並びに流入出管の管底高を記入する。

⑦ 雨水吐室

- イ. 雨水吐室は台帳凡例の記号により記入する。
- ロ. 雨水吐室は形状及び堰高、流入管、残留汚水管、放流管の管径並びに管底高を記入する。

⑧ ポンプ場

- イ. ポンプ場は台帳凡例の記号により記入し、ポンプ場名を表示する。

⑨ 処 理 場

- イ. 処理場は台帳凡例の記号により記入し、処理場名を表示する。

13. 区界及びその他の記入

① 排 水 区

- イ. 排水区界は20mm内外の2点鎖線とし線の両側に排水区名を5号活字の大きさに記入する。

② 分 区

- イ. 分区界は、10mm内外の1点鎖線とし線の両側に分区名を5号活字の大きさに明確に記入する。

③ 国公有地、民地境界及び行政区界

- イ. 国公有地、民地境界は細目の実線で記入する。
- ロ. 行政区界は細目の10mm内外の2点鎖線とし行政区名を6号活字の大きさ、町名は4号活字の大きさに明確に記入する。

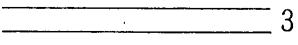

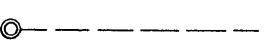
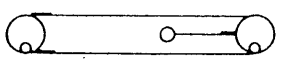




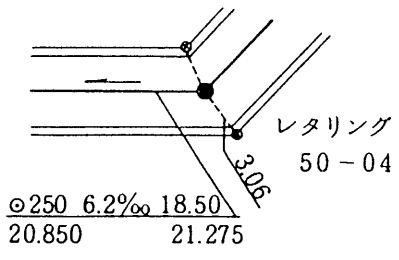
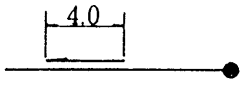
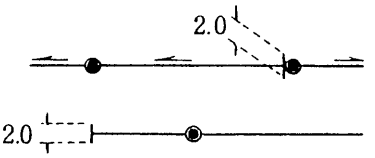
④ 工作物の支渠

- イ. 工作物の支渠は点線をもって記入する。

⑤ 河川、橋梁、道路

- イ. 河川、橋梁、道路は5号活字の大きさに読みやすく適正に配置する。

# 1 : 500 図式

種 別		図 式	摘 要
管 渠	幹 線 管 渠		実巾表示
	枝 線 管 渠		内径 200 mm 以上の管渠
不 明 管 渠			流入、流末不明管渠は破線表示
重 復 管 渠			真位置に表示する
形 状 寸 法	円 形	1.3  350 <span style="float: right;">レタリング 60-03</span>	管渠の大きさは円形管の場合は内径を馬てい形渠、く形、その他の特殊管は巾及び高さの最大値を示す。
	馬 て い 形	1.5  1000 × 1200 <span style="float: right;">"</span>	
	く 形	1.5  1000 × 1000 <span style="float: right;">"</span>	
	開 渠	1.5  1000 × 800 <span style="float: right;">"</span>	
勾	配	5.8 ‰ <span style="float: right;">レタリング 60-03</span>	小数点以下第 1 位まで表示 (第 2 位を 4 捨 5 入)
延	長	25.3 0 <span style="float: right;">レタリング 60-03</span>	人孔蓋の中心間距離を小数点以下 2 位まで表示
管 底 高		2 1.2 7 5 <span style="float: right;">レタリング 60-03</span>	人孔内壁部における管底の高さを mm 単位で表示
地 盤 高		$\frac{三}{三} \cdot \frac{八}{九}$ <span style="float: right;">フリーハンド</span>	標高で表わし人孔蓋縁わくの高さをもって表示する文字は縦書とする
人 孔 位 置 引 き 出 し 線			人孔位置は用地杭等などからの距離を記入する。 引き出し線は管渠に平行に引き出し記入事項全て引き出す。
流 水 方 向			管渠線に近接した位置に平行に記入
テ ッ ク			振り分け人孔は管底高の高い方につける。 管渠よりの場合



凡 例	
==	幹 線 管 渠
—	枝 線 管 渠
→→	圧 送 管 渠
⊗	0号マンホール 内径 75cm
●	1号マンホール 内径 90cm
○	2号マンホール 内径120cm
◎	3号マンホール 内径150cm
⊙	4号マンホール 内径180cm
□	5号マンホール 内法210cm×120cm
▣	6号マンホール 内法260cm×120cm
▤	7号マンホール 内法300cm×120cm
▥	特1号マンホール内法 60cm× 90cm
▦	特2号マンホール内法120cm×120cm
▧	特3号マンホール内法140cm×120cm
▨	特4号マンホール内法180cm×120cm
□	特殊マンホール（定形マンホール以外）
⊙	副管付マンホール
→	吐 口
▣	伏 越
○	汚 水 枳 内径33cm
●	汚 水 枳 内径40cm
●	汚 水 枳 内径50cm
⊕	汚 水 枳 内径75cm
□	雨 水 枳
⊙	汚水幹線路線番号
○	汚水枝線路線番号
▣	雨水幹線路線番号
□	雨水枝線路線番号

《 作成仕様 》

3号線

6号線

6号線 流下方向 右

φ 2.5mm

φ 2.5mm

φ 2.5mm

φ 2.5mm

φ 2.5mm

2.5mm×2.5mm

2.5mm×2.5mm

2.5mm×2.5mm

4.0mm×2.0mm

4.0mm×2.0mm

4.0mm×2.0mm

4.0mm×2.0mm

4.0mm×2.0mm 寸法は、引出線により表示する

φ 1.0mm

φ 1.0mm

φ 1.0mm

φ 1.0mm

1.0mm×1.0mm

外φ 8.0mm・内φ 6.0mm

φ 6.0mm

外8.0mm×8.0mm・内6.0mm×6.0mm

6.0mm×6.0mm

CAD移行により記号が一部変更になっております。  
図面：参考CADを確認のこと。



公共下水道台帳施設平面図A Pカード様式

3

対図番号		〇〇〇〇〇地内（付近）
初回 作成	平成    度    利下維第    号 公共下水道台帳〇〇〇〇作成業務 施工者    〇〇〇〇株式会社	<div></div>
補 正 1	平成    度 〇〇地区公共下水道築造工事 施工者    〇〇〇〇株式会社 TEL（    ）	
補 正 2	平成    度 〇〇地区公共下水道築造工事 施工者    〇〇〇〇株式会社 TEL（    ）	

830

1,870

# 図式凡例集

線の種類				
種 別			記載例	摘 要
線 の 幅	1	号 線		0.05 <sup>mm</sup>
	2	号 線		0.10
	3	号 線		0.15
	4	号 線		0.20
	5	号 線		0.25
	6	号 線		0.30
	8	号 線		0.40
	10	号 線		0.50
実線				
破線	長破線		庭園路等、徒歩道 耕地界、補助曲線 丁目界、無壁舎 真幅道路の歩道部	
	等破線		区域界、トンネル 建設中の道路、鉄道	
点線			植生界	
注 記				
種 別		記載例	書 字	体 大
特別区・市		仙台 <sup>6.0</sup>	明 朝 体	6.0mm
区 町 村		富谷 <sup>5.0</sup>	明 朝 体	5.0mm
大 字		加茂 <sup>4.5</sup>	明 朝 体	4.5mm
小 字		新 <sup>4.0</sup>	明 朝 体	4.0mm
建 物		泉市役所 <sup>3.0</sup>	等 線 体	3.0mm
目 標 物 諸 場 地		多賀城廃寺跡 <sup>3.0</sup>	等 線 体	3.0mm
道路・鉄道 トンネル・河川		東北本 <sup>3.0</sup>	明 朝 体	3.0mm
説明注記		(建設中) <sup>2.5</sup>	等 線 体	2.5mm
地 番		1 <sup>2.0</sup>	直 体	2.0mm
巾 員 他 そ の 他		6.1 <sup>1.5</sup>	直 体	1.5mm

記入例		
境界		
種別	記載例	摘要
行政界		8 4
区 界		8
大字界		6
小字界		6
官地杭		3
民地杭		3
基準点		
種別	記載例	摘要
三角点		標高は小数2位、標高は適宜記入する
水準点		同上
標定点	標識を有するもの	同上
	標識を有しないもの	同上
等	Na の 入 方	同上
標高点	実測による標高点	同上
	図化機による標高点	同上

建 物		
種別	記載例	摘要
建 物		3 一時的仮設物は表示しない
堅ろう建物		6 鉄骨又は鉄筋コンクリートで建築されたもの
無壁舎		3 一時的仮設物は表示しない
道 路		
種別	記載例	摘要
道 路		3
		3
トンネル		入口は坑口記号を用い表示する
交差部		
並木等		3
		3
切取部		3
盛土部		3
歩道橋		3 真形で表示する名称を注記する
橋		真形で表示、名称、種類、幅員、延長を表示する

橋種	型 式	記 号
鋼 橋	鋼桁橋	Sg
	鋼橋(鋼トラス橋)	St
	鋼拱橋(鋼アーチ橋)	Sa
	鋼剛橋(鋼ラーメン橋)	Sr
	吊 橋(鋼剛桁が鋼材のもの)	Sus
コ ン ク リ ー ト 橋	コンクリート床版橋(又は桁橋)	Cb
	コンクリート拱橋	Ca
	コンクリート剛橋	Cr
	PSコンクリート床版橋(又は桁橋)	Pb
	PSコンクリート剛橋	Pr
石 橋	石 版 橋(又は桁橋)	Mb
	石 拱 橋	Ma
木 橋	木 桁 橋	Wb
	木 橋 橋	Wt
	吊 橋(鋼剛桁が木材のもの)	Suw
地下道の出入口		
踏切道		
警報機		
遮断機		
防 護 柵	ガードレール	4 両端を真位置に表示し、中間は記号表示
	ガードパイプ	4 同上
	ガードロープ	4 同上
	ガードフェンス	4 同上
柵	駒止ブロック	2 真形で表示する
		4 幅が図上1mm以下
法 面 保 護	ネ ッ ト	3 真形で表示する
	モルタル	3 同上
	芝 等	3 同上
側 溝	U 字 溝 渠	3 側溝規格寸法を記入
	U 字 溝 掛	3 同上
	L 型	3 同上

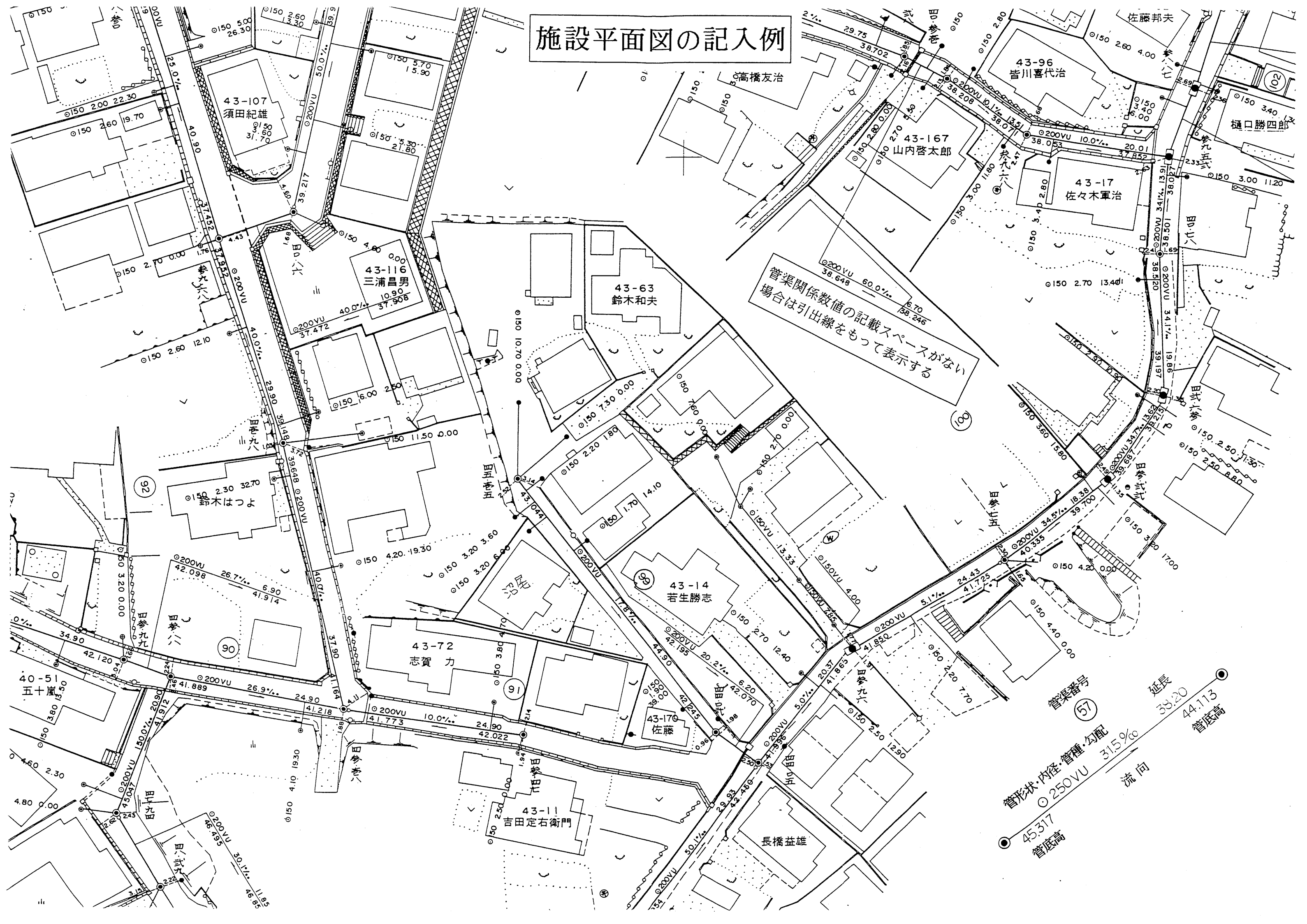
舗装 区分			舗装界を1点鎖線で記入
	種	Co コンクリート	Ca カラーアスファルト
	類	A 高級アスファルト	PTB 平板ブロック
		a 薄層アスファルト	RB レンガブロック
		IR インターロッキング	G 砂利
道路元標			4 2
起 終	起 点		4
	終 点		4
幅員表示			2
鉄 道			
種 別	記載例	摘 要	
普通鉄道		10 3	軌道の中心位置を表示
高架部		6	橋脚の射影が表われる場合は真形で表示する
特殊軌道		6	軌道の中心位置を表示し駅は普通鉄道に準ずる
プラットホーム及び跨線橋		3 4	真形で表示する
トンネル			入口は坑口記号を用い表示し地下の部は破線で記入する
地下鉄			地上に表われた部を普通鉄道で表示する
モノレール			特殊軌道で表示しモノレール
構 囲			
種 別	記載例	摘 要	
ブロック			

板 べ い		3	
垣 ・ 柵		3	
生 垣		3	
建 物 設 号			
種 別	記載例	摘 要	
神 社		4	注記 (記号は小規模のものを表示する)
寺 院		4	同上
キリスト教会		4	同上
病 院		4	同上
駐在所派出所		4	同上
消防器具場		4	同上
郵便局		4	同上
電報電話局		4	同上
工 場		4	同上
変 電 所		4	同上
倉 庫		3 4	同上
市区町村役場の支所及び出張所		4	同上
公会堂公民館		3	同上
銀 行		3	同上
市 場		3	同上
公衆便所		4	記号表示
公衆電話		4	記号表示

ポ ス ト		2.0	真位置に表示する
ポンプ場		1.53	注記 (記号は小規模のものを表示する)
小 物 体			
	記載例	摘 要	
門		3	真形で表示する
鳥 居		3	脚の間幅は真幅で表示する
石 段		3	真形で表示する
墓 碑		4	独立して一個又は狭小で植生界を表示し得ないもの
記 念 碑		3	大きなものはその基礎面を表示する
立 像		3	同上 建物内にあるものは表示しない
独立樹(広葉・針葉)		3	記号表示する
高 塔		3	真形で表示する
電 波 塔		3	脚部の辺又は径が図上4mm以上のものはその外周を示す
送 電 線		3	
火 の 見		3	
井 戸		3	真形で表示する
防 火 用 槽		3	同上
肥 料 槽		3	同上
坑 口		3	真形の幅が1.5mm未満の場合極小の記号をその方向に一致させて表示する
プ ー ル		3	真形で表示する 注記する
灯 台		3	真形で表示し記号を灯台の中心を一致させて表示する

上 水		3	
下 水		3	
ガ ス		3	
電 力		3	
電 信 信 号		3	
消 火 栓		3	
上 以 記 外		3	
電 柱	電 力		3 真位置に表示し、方向線を記入
	電 信 信 号		3 同上
	有 線		3 同上
	共 同 柱		3 同上 電力・電話の共同
等 路 標	街 路 灯		3 真位置に表示する
	信 号 機		3 同上
	防 犯 灯		3 同上
	交 通 標		3 公共団体設置以外の標識
道 路 標 識	案 内		3 真位置に表示する
	警 戒		3 同上
	規 制		3 公共団体設置のみ真位置に表示する
	交 情 報 板		3 同上
カ ミ ラ		3	
視 誘 導 線 標		3	
ス ノ ー ル		3	

施設平面図の記入例



管渠関係数値の記載スペースがない場合は引出線をもって表示する

管渠番号 57  
管形状・内径・管種・勾配  
○ 250VU 31.5%  
45.317 管底高  
延長 39.20  
44.113 管底高  
流向



X=-181251.089

X=-181251.089

平成十七年三月調整  
平成二十五年五月補正

9	10	11
15	16	17
20	21	22

公共下水道台帳施設平面図

参考(CAD版)

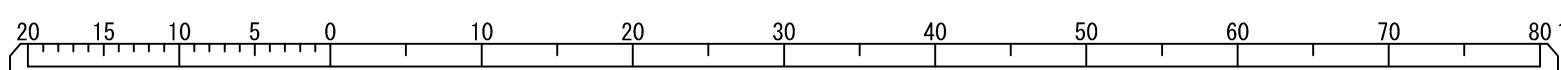
凡 例	
	幹線管渠
	枝線管渠
	圧送管渠
	0号マンホール (内径75cm)
	1号マンホール (内径90cm)
	2号マンホール (内径120cm)
	3号マンホール (内径150cm)
	4号マンホール (内径180cm)
	5号マンホール (内径220cm)
	6号マンホール (内径260cm×120cm)
	7号マンホール (内径300cm×120cm)
	特1号マンホール (内径60cm×90cm)
	特2号マンホール (内径120cm×120cm)
	特3号マンホール (内径140cm×120cm)
	特4号マンホール (内径180cm×120cm)
	特殊マンホール (定形マンホール以外)
	副管付マンホール
	吐 口
	伏 越
	汚水樹 (内径33cm)
	汚水樹 (内径40cm)
	汚水樹 (内径50cm)
	汚水樹 (内径75cm)
	雨水樹
	汚水幹線路線番号
	汚水枝線路線番号
	雨水幹線路線番号
	雨水枝線路線番号

利府町

X=-181501.089

X=-181501.089

シアイタウン利府葉山株式会社  
鹿島建設株式会社



縮尺 S = 1 : 500

(測地成果2011)